

患者さんへ

「サイバーナイフ肺治療におけるマーカーレス動体追尾照射精度に関する研究」について

神戸低侵襲がん医療センター(以下当院とします)放射線治療科では、当院にてサイバーナイフのマーカーレス動体追尾照射システム(以下本システムとします)による肺腫瘍の放射線治療を実施された患者さんのデータをもとに本システムの照射精度について検討しております。この研究は、本システムの機械的な精度の一部を検証するものであり、新規に患者さんへお願いする事はありません。この調査研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ窓口]までご連絡ください。

[研究概要]

当院では肺腫瘍に対してサイバーナイフの動体追尾照射システムを用いて放射線治療を施行しております。一般的な動体追尾照射では体内の腫瘍近傍に目印となる金属マーカーを留置する必要がありますが、本システムでは腫瘍の位置や大きさによっては体内に金属マーカーを入れずにマーカーレスで動体追尾照射が可能です。このシステムによる治療自体は一般的で、当院でも安全かつ適切に行っておりますが、新しいシステムであるため、より最適な治療を行うためにその性能(照射精度)の遡及的な検証が必要であると考えています。本研究はすでに本システムを使用して治療を行ったデータを調査、解析するものであり、2015年3月から2016年10月までに神戸低侵襲がん医療センターで肺腫瘍に対してサイバーナイフの機械で治療された患者さんを対象とさせていただきますので、新規に患者さんに何かをお願いする事はありません。

[取り扱うデータ]

本システムを用いて治療を行った際にサイバーナイフのロボットの動きや追尾照射の情報がログデータとして自動的にシステムに記録されます。本研究では、本システムを用いて治療を行った患者さんのログデータと治療計画用に撮影したCT画像データを抽出し、解析いたします。

【個人情報保護の方法】

個人情報、データ等は、正確に尚且つ検証が可能なように記録・保管します。登録患者の同定や照会は、主に登録時に定められた症例登録番号を用いて行われ、患者名など第三者が直接患者を識別できる情報が本試験のデータベースに登録されることはありません。

【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本研究により対象患者さん個人には特に利益と考えられることはございませんが、本研究の成果により、今後本システムで治療を行うがん患者さんがより安全に治療を受けることができる可能性があります。

不利益・・・一連の治療の中での必然的な記録だけを解析するものであるため、特にございませぬ。

【研究参加の取り止めについて】

いつでも可能です。参加を辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください

【研究責任医師（又は研究責任者）】

神戸低侵襲がん医療センター 放射線治療科 医学物理士 中山 雅央

【問い合わせ窓口】

神戸低侵襲がん医療センター 放射線治療科 医学物理士 中山 雅央

連絡先:078-304-4100